

ひかりのそら

星空の下、織り重なるコトバとガムランの響き。今回の公演は、作詞・作曲・構成を Go On のメンバーで企画いたしました。ガムランの響きに耳を傾け、メンバーによってメロディや詩が生まれました。また、そのメロディに呼応するように生まれた儂い星の物語。光が瞬き、響きに満たされたプラネタリウムの時空間で、光の物語が繰り広げられていきます。



Go On

2016年グループ結成。「社会福祉法人明日へ向かって」のガムランチーム。2014年にインドネシアの西部ジャワの「ガムラン」を導入し、施設の日中活動として音楽活動を開始。アフリカンパーカッションやタイの民族楽器「キム」、雅楽の「笙」などを交えた演奏活動を展開している。

セッションやワークショップを通じ、ガムランによるオリジナルのメロディ創作や歌詞づけから楽曲を制作。チーム名である「Go On」は、元木哲三氏によって名づけられ、「go on (進む、継続する)」「五音 (音階の数)」「轟音」「御恩」そして「ゴーン (音)」という五つの言葉が重ねあわされている。

Sorairo kamyu
空色カミュ



即興でその場に唄を降ろすシンガー、ダンサー
インドの旅の中で世界各地のミュージシャン、
ジプシー、ダンサーとの即興セッションを行う。
「あなたの声を聞くと、なぜか涙が溢れる」と空
色カミュの唄は魂に愛のオアシスを、そして静か
な目覚めを起こすと評判となる。
2020年より糸島半島へ移住。海や風を感じなが
らの楽曲制作、舞のワークショップ、自分たちで
建てた山のティビーで糸島女神リトリートなど、
いのちの本質、感性が安心して開く創造の場と空
間を産み出している。
2021年10月 空色カミュ 生命の神秘と繋がる
CD album～天色夢～をリリース
2022年11月 糸島での第一回女神祭りを主催

ガムランについて

インドネシア各地の金属打楽器合奏を総称して「ガムラン」と呼ばれています。大きささまざまな形をもったガムランの楽器群は、鍵盤型のものやお鍋型のものや共鳴管を持ったものなどがあります。今回演奏されるガムランは、ジャワ島の高原地帯であるスダ地方の様式で、「ガムラン・ドゥグン」と呼ばれている楽器が中心です。特にガムランの中で一番大きな楽器であるゴングは、空気振動のふるえとして体感できる迫力ある響きを生み出します。



光に満ちた一日

夜がふける

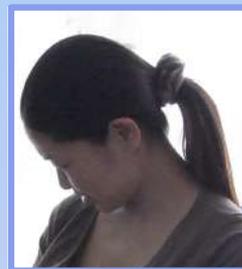
こまやかに散り輝く星たち

彼方の星で 光に出会う

光に遊ぶ

天に捧げる音

星々に祈る詩



Mika Yamaguchi
山口美佳

表現アーツセラピスト/即興表現アーティスト
レズリー大学大学院表現療法・音楽療法&メンタルヘル
スカウンセリング修士課程修了。米国にて高齢者・知
的障がい者・発達障がい児・薬物依存患者への臨床を
経た後、生殖医療/産婦人科領域にて様々な表現ア
ーツを融合した表現音楽療法を実践。2010年より津屋崎
を拠点に、暮らしに寄り添う表現活動を展開。インク
ルーシブにまちづくりやアートに関わる仲間たちと共
に、“音+表現アーツ”を介してつながる創造的コミュ
ニティの実現をめざす。津屋崎に残る原風景を芸術的
体感で記憶・継承する音語りの場『音の手紙』『百年
散歩』を企画・実践。現在、ニーズに寄り添いなが
ら、表現アーツセラピストとしての背景をベースにし
た独自の感性教育プログラム『音の旅』『よりそうビ
アノ』『よりそう英語』を提供。日本クリエイティ
ブ・アーツセラピー学会 (JCATA) 理事。

お問い合わせ

社会福祉法人 明日へ向かって
〒813-0025 福岡市東区青葉2-11-9



Tel : 092-663-2833
Fax : 092-663-2834
(担当: 渡辺)

<http://www.swca.or.jp/>

2023年 6月23日 (金) 開場18:30 開演19:00

会場：福岡市科学館 6階 ドームシアター (プラネタリウム)

(〒810-0044 福岡市中央区六本松4-2-1)

福岡市地下鉄 六本松駅
博多駅から地下鉄で12分!

Access

福岡市地下鉄七隈線六本松駅 (科学館前) 3番出口より徒歩すぐ
西鉄バス六本松バス停より徒歩すぐ
※専用駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

